

ゆとりと都市の環境

平成 21 年 6 月 3 日

(株) 環境デザイン機構 福田忠昭、岡大輔

1. 「ゆとり」と都市デザイン

- ・ 1898 年 田園都市 (エベネーザー・ハワード)
 - ・ 1920 年頃 田園調布 (渋沢栄一)、箕面・千里山 (小林一三)
- 【キーワード】 都心と郊外、鉄道、住宅地

2. 北九州市と都市デザインの歴史

- ・ 戦災復興～ 都市基盤の整備 (道路、交通、産業) →コンパクト・シティ
 - ・ 1960 年代～ 公害と自然環境、公園→地球環境問題
 - ・ 1970 年代～ 市民参加→コミュニティ・ビジネス、NPO、社会的企業
 - ・ 1970 年代～ 歴史的町並み、建物→景観法、観光立国
 - ・ 1970～80 年代 文化・芸術環境 (パブリックアート) →創造的都市
-
- ・ 空間のゆとり (自然、公園、景観)
 - ・ 時間のゆとり (住民参加、ストック)
 - ・ 気持ちのゆとり (芸術・文化、ボランティア)
 - ・ お金のゆとり (経済的な発展、ルール)

■ 1 人あたりの都市公園面積

- ・ 欧米よりも圧倒的に少ない面積
- ・ どこまで増えればいいのか? (目標は 20 m²?)

■ 福岡市の「ゆとり」

- ・ 空港まで 5～11 分
- ・ 航空法による高さ制限 (都心部の建物の高さ約 60m)
- ・ 規制を単なる制限と捉えるか、「ゆとり」のためのルールと捉えるか

■ 大切なこと

- ・ 量と質の問題 「ゆとり≠豊かさ」
- ・ 単なる空間 (ハード) だけではなく、総合的な「ゆとり」から生まれる豊かさ

やわらかい都市をつくる

3. 具体的な事例

○実際の都市デザインでの工夫

- ・新宮町中心市街地 駅前に下水処理場
- ・大分市明野の住宅地 エリアマネジメント

○豊かな「ゆとり」を生む手法

- ・【記憶】横浜みなとみらい
- ・【アート】かえっこバザール、灯明ウォッチング
- ・【こども】ミニミュンヘン、ミニふくつ

○笑うマチグワァーにみる「ゆとり」の指標

- ・100の指標からみた沖縄県のすがた
- ・オバアたちの笑顔